

第1回 物流用ドローンポート連絡会 議事概要

1. 主な議事

○事務局より資料1～3を説明した上で、意見交換を行った。

2. 主な意見

- 物流用ドローンポートは官民協議会のロードマップにもあるとおり、ドローンを活用した荷物配送の安全性を確保するためには重要。本連絡会では、ドローンポートが様々な課題をクリアしているか、ご意見をいただく場とし、制度等については官民協議会等と連携が必要。
- 有人機では操縦者が最終的に責任を持つが、ドローンが自動離着陸を行なう場合、ドローンポートからの誘導補助を含め、責任範囲の検討が必要。
- ドローンを利用した荷物配送では、一度に多くの荷物を運べないため、ドローン配送と他のサービスを組み合わせる等の方法により、ドローンの稼働率を高めていくことが重要。
- ドローンの荷物配送は宅配だけでなく、拠点間配送等の活用方法もあり得る。また、医薬品等の大事な荷物を扱う際には、例えば、ドローンポートに屋根を付けるような設計の工夫等が必要。
- 実用化に向けては、ドローンポートの技術開発と運用は切り離せないものであり、研究開発や本連絡会において、ドローンを活用した荷物配送に係るコスト試算等についても意見交換が必要。
- ドローンの安全性確保の為には、機体の自律機能向上だけでなく、運航管理（交通整理）や通信ネットワーク等のインフラが必要。物流では遠隔地での離着陸が固有の課題であり、ドローンポートはこれを支えるインフラとして重要。特に、離着陸時の低い高度での通信には課題があるので検討が必要。

（以上）